

TEGO ネットだより浜田

平成 29 年 11 月 10 日 第 116 号
浜田市農林業支援センター

はじめに

「てご」とは、方言で「手伝う
(支援する)」という意味です。

我が国のコメ消費量が毎年約8万トン減少していく中で、食料自給率・食料自給力の向上や米農家の所得向上を図るために、平成30年度から「米政策」が大きく見直されます。生産調整の廃止、米の直接支払交付金(7,500円/1反)の廃止など、国は畑作や飼料米などへの誘導を進めています。浜田市農林業支援センターでは、浜田市農業再生協議会を主体として、農家の方々の作付け希望面積を取りまとめ、自治区毎に配分案の説明会を実施する予定としていますので、ご理解とご協力をお願いします。(浜田市農林業支援センター長 佐々本 芳資郎)

1. 各支援チームからの話題

新規就農者支援チーム (担当: 石津・横田)

新規就農者や農業研修生等を対象に、スムーズな就農や確実な営農定着を図るため、地域を越えたネットワーク作りや農業に対する目標や日々の悩みなどを情報交換する場として、**交流会**が以下のとおり開催されます。

参加を希望される方は農林業支援センターまでご連絡ください。

- 東部会場：平成 29 年 11 月 30 日(木)13:00～ パルメイト出雲
- 西部会場：平成 29 年 12 月 4 日(月)13:00～ グラントワ

島根県新規就農者・農業研修生等交流会の開催について



昨年の交流会での発表の様子

認定農業者支援チーム (担当: 小浴・石津)

認定農業者の紹介

今回は、今年6月に新規認定農業者になられた金城町の新開団地の**株式会社ベリーネ**(旧合同会社めぐりこるWESTと株式会社KKNが統合)さんをご紹介します。

株式会社ベリーネさんが引き継がれた「きんた農園ベリーネ」は、「いちご狩り」と「ぶどうのピオーネ狩り」ができる観光農園として2007年3月の開園以来、10年が経ちました。統合し組織体制も一新し、社長や農園長が常駐となり、集客に向けた商品開発やイベント開催等を積極的に取組んでおられます。農園に併設される**ベリーネカフェ**では、今年新メニューとして開発された「いちごチーズケーキソフト」やセミドライピオーネ入りの「パウンドケーキ」は好評とのことです。また、定番商品の「いちごジャム」や「ピオーネジャム」などの加工品も店内に沢山とり揃えておられます。広大な新開団地の景色を眺めながら、カフェでのひと時を過ごされるのは如何でしょうか。観光農園では、1月から5月までがいちご狩り、8月下旬から10月上旬までがピオーネの収穫体験が楽しめます。閉園時期の集客対策として、この夏にはワークショップが開催され、親子連れの方等が剪定したぶどうの枝を利用した**コースターづくり**などを楽しまれています。この冬では、12/1(金)・2(土)・3(日)には、ベリーネカフェにて、「**透かし折り紙**」を作成するワークショップが開催されます。参加料は1,300円で、ドリンクやおやつ付で楽しめる内容とのことで、現在、**参加者募集中**です。

いちごハウスでは、現在、「かおり野」・「紅ほっぺ」・「章姫」・「さちのか」の他、今年初めて試験的に淡い桃白で桃の香りがする「桃薫」の植付けが行われています。今から1月の開園が楽しみです。



ぶどうの枝のコースター



ベリーネカフェ



「桃薫」の苗



「桃薫」イメージ画像

集落営農組織支援チーム (担当: 佐々本^{ささもと}・小浴^{こえき})

＝ しまね農業公社集落営農コーディネーターから一言 ＝



この4月から、しまね農業振興公社に所属し、県西部の「集落営農広域連携コーディネーター」を務めています原田純次です。

私たちは、これまで、農業を取り巻く多くの困難に対して、「集落営農」という仕組みを武器に、地域の農業を守ってきました。しかしながら、3年前には米価下落が起こり、生産調整も今年度で完全に廃止される中、来年、再来年の水田農業の姿さえ予想できない状況です。この度、「集落営農の広域連携」を推進するために私が配置されたのも、従来の集落営農の仕組みだけでは地域農業の維持が困難になりつつあることが背景にあります。今後は、近隣の集落営農同士が、人・物・知恵の面で連携し、生き残っていく道を探る必要があるのではないのでしょうか。すでに弥栄自治区では集落営農の連携組織や法人が設立され、ブランド米の生産・販売に取り組みまれており、県内の先進モデルとなっています。今後の「集落営農の広域連携」につきまして、皆様のご支援、ご協力をお願いします。

2. 西条柿収穫ボランティアの開催

平成29年10月25日(水)、今年度第1回目の西条柿の収穫ボランティアが、三隅町東平原の柿園で開催されました。今年は、昨年の2倍以上を上回る43名の方からボランティア参加の申し込みがあり、その結果、ことしは4回に分けて開催となりました。

第1回目の参加者は、3戸の農家に分散して、西条柿の収穫のお手伝いをしていただきました。



収穫作業の説明



収穫された西条柿



収穫中の参加者

3. いわみ中央西条柿生産組合品評会の開催

平成29年10月26日(木)、「いわみ中央西条柿生産組合品評会」が、きんさい市場黒川店前にて開催されました。当日は、31点(1箱2.5kg入り)の応募があり、最優秀賞は平木正美さん、優秀賞は原征四郎さん、優良賞は出島智さんの西条柿が選ばれました。

審査会後、西条柿の試食販売(2.5kg入り1箱3,000円・4個入り1袋350円)も行われました。



審査状況



受賞した西条柿



試食販売

4. 農業経営発展研修会の開催について

島根県農業再生協議会では、税務等の基礎的知識の研鑽及び管理能力の向上のための「農業経営発展研修会(税務研修)」を、平成29年11月29日(水)に開催されます。詳細は研修会チラシを同封しましたので、ご覧ください。研修会場が出雲市ではありますが、今後の農業経営の安定化・発展には、有意義な研修と考えられます。申し込みはチラシ裏面の「参加申込書」を直接ファックスされるか、当支援センターまでご連絡ください。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様に配信しています。
- ご意見、掲載をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発行元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAしまね いわみ中央地区本部 分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.lg.jp